

915MHzインピーダンスモニタ

IMP-2007-915

本装置は、マイクロ波伝送線路の発振装置と負荷の部分に挿入し、プラズマ等の負荷インピーダンスをリアルタイムに監視するモニタ装置です。インピーダンスの表示形式として反射係数 Γ 、VSWR及び位相 θ を測定し、パーソナルコンピュータにチャート表示させることができます。



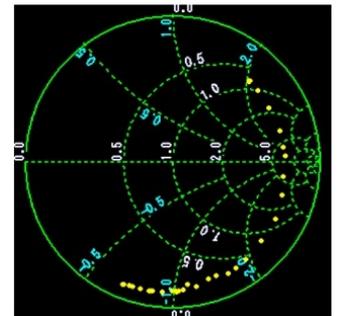
915MHz同軸管タイプ
IMP-2007-915-39D



915MHz導波管タイプ
IMP-2007-915-WR975

構成

構成品	形式	数量	備考
本体(導波管タイプ)	IMP-2007-915-WR975	1	
本体(同軸管タイプ)	IMP-2007-915-39D	1	
RS-232Cケーブル	W100	1	ケーブル長をご指定下さい
ACアダプタ		1	DC5V, 2A
PC表示ソフト		1	Windows PCは別途ご用意ください
取扱説明書		1	



スミスチャート表示例

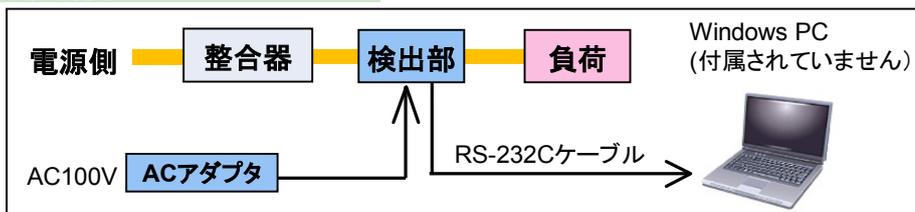
仕様

項目	915MHz導波管タイプ	915MHz同軸タイプ	備考
周波数範囲	915±10MHz		
定格電力	5kW(CW)		
導波管	WR-975	—	
導波管	—	WX-39SDNF	
フランジ又は接栓	FUDR-9相当	39Dサイズ	
測定範囲	負荷VSWR1.0-10(全位相)		
測定表示項目	反射係数 Γ 、VSWR、位相 θ 、又は正規インピーダンス $R[\Omega]$ 、 $Jx[\Omega]$		
測定データサンプリング間隔	0.1-60sec.		
データ保存形式	CSVファイル形式		
表示方法	スミスチャート、ガンマPhaseチャート		
測定誤差	反射係数	±0.05 TYP	
	位相	±3° TYP (VSWR1.1以上に於いて)	
対応OS	Windows 2000, XP		
制御 I/F	シリアルインターフェース(RS-232C Dsub 9pinコネクタ)		USB2/RS-232C変換器使用可
電源	入力 AC100V 50/60Hz 出力 DC5V, 2A		ACアダプタ使用

特徴

1. 実負荷時のインピーダンスがリアルタイムに測定できます。
2. 測定値をチャート上にプロットするので問題発生時の解析が容易にできます。
3. 負荷への入射電力を測定できます。
4. サンプリングしたインピーダンス値をPC上にCSVファイル形式で保存できます。

接続例



- 注1. 機能アップのため、予告なく仕様変更する場合があります。
- 注2. PCは付属していません。
- 注3. 他の周波数、導波管、同軸サイズについてはお問い合わせください。

The Future of Wave Technology



日本高周波株式会社

〒226-0011 横浜市緑区中山町1119

電話 045-939-6961

Fax. 045-932-1900

Email sales@nikoha.co.jp

URL <http://www.nikoha.co.jp/>